



【千地申3号】「乗務員勤務制度の見直し」に踏まえ、安全・健康・ゆとり・働きがいの担保された乗務員職場を創る申し入れ 第2回団体交渉を行う！⑧

25. 乗務員の体調不良による輸送障害を防止するため、乗務員用トイレにエアコンを設置すること。なお、中野駅運転士詰所についてはトイレに起因する異臭を解消すること。

【回答】現行設備で対応されたい。

(組合) トイレが暑いという声があり、要求している。

(会社) 限りある予算であるので、空調の設置等については他の箇所を優先させる。

(組合) 中野駅運転士詰所の異臭は原因を突き止めて対策すること。

(会社) 東京支社に依頼する。

26. SNSの流行に踏まえ、乗務に集中できる環境を整えるため、乗務員室背面ガラスに「乗務員に対する写真・動画撮影はご遠慮ください」という掲示を掲出すること。

【回答】現行通り対応されたい。

なお、インターネット上の不適切な画像や映像に関しては、今後も関係箇所に削除等を要請していく考えである。

(組合) 不適切な画像や映像とは何か。

(会社) 主に、個人が特定できるもの。誹謗・中傷する内容のものである。

(組合) 走行中に撮影されると、運転士であればその場で撮影中止を要請できない。停車時に説明した際、「撮影してはいけない、とは書いていないではないか」と言われたことがあり、説明時間を短くするためにも掲示は必要である。 掲示できない理由は何か。

(会社) 車両への掲示は様々な手続きが必要となる。また、業務用携帯電話使用の掲示等もあり、掲示だらけになることは望ましくない。

(組合) 現場でのトラブルを防ぐための掲示である。なぜ掲示できないのか。

(会社) 「貼る必要がない」との会社の判断である。運転に集中していれば気にならない。運転保安上の問題までではない。フラッシュを焚かれる等の場合は指令に連絡するなど、現行通り対応されたい。

(組合) (撮影されることは) 過大なストレスであるとの声が多い。乗務員室内への防犯カメラ設置もあり、乗務員室の環境は大きく変化している。強く検討を求める。

(会社) 会社の考えは「現行どおりの対応」である。

職場からの数多くの声を寄せていただき、ありがとうございました！

実現に至らなかった項目については引き続き声を上げると共に、

新しい乗務員勤務制度の運用開始後は「検証運動」を行い、

安全・健康・ゆとり・働きがいを実感できる乗務員職場を創り出そう！

